

令和 8 年度

一般選抜 A 日程 (2/4)

数学

出題意図

I	場合の数、余弦定理、剰余の定理、指数関数を含む方程式・不等式についての基礎事項の理解と計算力を問うた問題である。
II	(1)は事象と確率についての理解と計算力を問うた問題である。(2)は等差数列について、与えられた条件から初項と公差を求め一般項を導くことができるか、また等差数列の和を求めることができるかを問うている。さらに和の最小値問題として、整数変数の2次関数の絶対値の最小値を求める能力を問うている。
III	(1)はベクトルの基本的な性質ならびにベクトルを用いて線分の内分点や三角形の面積を求めることができるかを問うている。(2)は放物線と直線で囲まれた領域の面積の求め方と、面積がパラメータを含む場合の面積最小の条件を、解と係数の関係を用いてうまく処理できるかを問うている。
IV	(1)は複素数の基本的な計算能力を問うた問題である。(2)は与えられた無理関数の極限と極値・変曲点を計算し、そこから関数の概形を理解して指定された領域の面積を定積分で表せること、また無理関数の定積分を計算する能力を問うた問題である。